

## 2021年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
220221029	公衆衛生学Ⅱ Public Health Ⅱ	岡田瑞恵		専門	2	必修	2前期
<b>科目の概要</b>							
公衆衛生学Ⅰの内容を踏まえ、人々の健康とその維持、疾病予防を目的とした基本的知識を身に付けるため、母子保健、学校保健、産業保健、高齢者の保健・医療や介護、精神保健等、ライフステージや各現場における保健の課題や行政活動の現状を理解する。また、保健医療活動の国際協力についても紹介する。							
<b>学修内容</b>				<b>到達目標</b>			
① 母子保健の課題とそれに係わる保健活動を理解する。 ② 学校保健の概念とその保健管理を学ぶ。 ③ 勤労者の健康の維持と健康管理を学ぶ。 ④ 高齢者の医療や介護、地域包括システムについて理解する。 ⑤ メンタルヘルスの現状と精神福祉活動について学ぶ。				① 母子保健の課題を要約して説明できる。 ② 学校保健の概念と健康診断の目的を説明できる。 ③ 勤労者のここ10年の労働情勢をつかみ、健康問題を指摘することができる。 ④ 地域包括システムの概要を説明することができる。 ⑤ 「精神の健康」の考え方を説明できる。			
<b>学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素</b>		<b>学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例</b>					
前に踏み出す力	主体性	講義中の不明なキーワードや事柄について、ニュース、新聞、書籍、文献、ICT活用（データ引用および文献検索）等により、広い情報源を用いて調べることができる。					
	働きかけ力						
	実行力	課題解決のため、知識を検索する手段を獲得できる。図書館やICT活用等で資料となる書籍、関連論文を見つけ、主体的な学習に繋げることができる。					
考え抜く力	課題発見力	自発的な学習を通して、広く社会の抱える課題を見出し、解決に向け考えることができる。					
	計画力	グループワークにおいて、役割を遂行し協力しながら結論を導き出すことができる。					
	創造力	社会が抱える課題に対し、どう解決すべきかの方向性を考え、表現することができる。					
チームで働く力	発信力	グループワークにおいて、学習した知識を提供しつつ、自己の意見を発言することができる。					
	傾聴力	グループワークにおいて、他者との意見の違いを認識するとともに、異なる意見に触れ、物事を多面的に捉える力を身につけることができる。					
	柔軟性	グループワークにおいて、様々な意見を傾聴し、他者の意見と自己の意見のすり合わせを行い、一つの結論にまとめ上げることを通して、チームで働く調整力（協働力）を身につけることができる。					
	状況把握力	グループワークにおける担当した自分の役割を果たすことができる。					
	規律性	講義の時間は個人のみが所有する時間ではないことを理解し、全体の講義に支障をきたす行動を慎むことができる。					
	ストレスコントロール力	一つの課題に対し、様々な意見が当然ある。自己の発した意見を他者に否定的に捉えられても、一つの意見に対するものと受け止め、共通の課題を解決するための討論であることを認識することができる。					
<b>テキスト及び参考文献</b>							
教科書：シンプル衛生公衆衛生学2021 鈴木庄亮 監修 辻一郎/小山洋 編集 南江堂 (2021. 3月出版予定) 参考書：アクティブエイジング 健康管理学 ～予防医学の視点から～ 2021年版 岡田悦政 編著（八千代出版）、国民衛生の動向、国民福祉の動向、厚生労働白書、環境白書							
<b>他科目との関連、資格との関連</b>							
他科目との関連：公衆衛生学Ⅰ、健康管理概論、公衆衛生学実習 資格との関連：管理栄養士、栄養士、食品衛生監視員、栄養教諭							
<b>学修上の助言</b>				<b>受講生とのルール</b>			
・日々のニュースにアンテナを張って下さい。公衆衛生学上の課題が必ずあります。 ・テキストから得られる知識だけでなく、ニュース、新聞、書籍、文献、ICTの活用等、情報源を広く持つと同時に、エビデンスに基づいた情報源の利用を行う。				・提出物は必ず提出すること。 ・講義の中で、不明なキーワードや事柄を必ずノートに記し、調べる習慣を身につける。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	70	①	✓	<p>・授業で学習した内容の理解度や主体的な学びを確認するため、以下の到達レベルをもって各評価の基準とする。</p> <p>S：地域保健と保健行政のあらましを理解し、さらに、母子保健、学校保健、産業保健、高齢者の保健・医療・介護と保険制度、精神保健、国際保健医療、主な保健福祉制度の概要について理解し、自己の考えを述べることができる。出題の90%を正解とする。</p> <p>A：地域保健と保健行政のあらましを理解し、さらに、母子保健、学校保健、産業保健、高齢者の保健・医療・介護と保険制度、精神保健、国際保健医療、主な保健福祉制度の概要について理解することができる。出題の80%を正解とする。</p> <p>B：母子保健、学校保健、産業保健、高齢者の保健・医療・介護と保険制度、精神保健について理解できる。出題の70%を正解とする。</p> <p>C：母子保健、高齢者の保健・医療・介護について理解できる。出題の60%を正解とする。</p> <p>F：Cのレベルに到達できていない。</p>		
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
	平常評価	小テスト		0	①			
					②			
					③			
					④			
					⑤			
		レポート		10	①		✓	理解度を評価するため、予習・復習・小課題レポート①～③、およびグループワークのワーキングシートの提出を課し、内容を評価する。
					②		✓	
					③		✓	
					④		✓	
					⑤		✓	
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		10	①		✓	グループワークにより決定されたテーマにおけるディスカッションにおいて、自らの役割を遂行しつつ、積極的に発言し、課題を遂行することができる。グループの意見をを集約し結論を導き出すことができる。
					②		✓	
					③		✓	
					④		✓	
					⑤		✓	
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	（主体性）自ら進んで予習や復習をし、管理栄養士に関連する衛生法規について理解する。			
			②	✓	（実行力）課題に対する文献、書籍、資料等を見つけて読むことができる。			
			③	✓	（課題発見力）介護や福祉等に対するこれからの課題を見つけ出すことができる。			
			④	✓	（創造力）健康寿命を延長するための施策について、多面的に考えることができる。			
			⑤		（発信力）プレゼンテーションにおいて、どのような表現が伝わりやすいかを考え発信することができる。			
				（傾聴力）集中して講義を受講し、他者の意見を傾聴して自己の意見や質問を行うことができる。				
				（規律性）決められた時間内に問題解決を行うことで、チームによる調整力を身につける。				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>S：地域保健と保健行政のあらましを理解し、さらに、母子保健、学校保健、産業保健、高齢者の保健・医療・介護と保険制度、精神保健、国際保健医療、主な保健福祉制度の概要について理解し、自己の考えを述べることができる。出題の90%を正解とする。</p> <p>A：地域保健と保健行政のあらましを理解し、さらに、母子保健、学校保健、産業保健、高齢者の保健・医療・介護と保険制度、精神保健、国際保健医療、主な保健福祉制度の概要について理解することができる。出題の80%を正解とする。</p> <p>上記の基準に従い、筆記試験・課題内容・プレゼンテーション等を総合的に評価し、特に優れているものをS（秀）、優れているものをA（優）とする。</p>	<p>B：母子保健、学校保健、産業保健、高齢者の保健・医療・介護と保険制度、精神保健について理解できる。出題の70%を正解とする。</p> <p>C：母子保健、高齢者の保健・医療・介護について理解できる。出題の60%を正解とする。</p> <p>上記の基準に従い、筆記試験・課題内容・プレゼンテーション等を総合的に評価する。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション 地域保健と保健行政 ・地域保健活動の概要と保健行政について学ぶ。	講義	保健所の行う主たる事業内容を挙げることができる。	(予習) シラバスに目を通し、授業の全体像を掴んでおく。 (復習) 授業において、不明なキーワード、事柄について調べておくとともに、テキストの授業内容の範囲をよく読んでおく。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
2	母子保健 ・母子保健の課題と保健活動について学ぶ。	講義 ディスカッション	近年増加する母子保健の課題について説明できる。	(予習) テキストの授業範囲に目を通して、概要を掴んでおく。 (復習) 授業において、不明なキーワード、事柄について調べておくとともに、テキストの授業内容の範囲をよく読んでおく。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
3	学校保健 (1) ・学校保健の概要について学ぶ。 ・子どもの健康状況とライフスタイル・メンタルヘルスの現状と歯科保健について学ぶ。	講義 ディスカッション	児童生徒のライフスタイルの現状として、睡眠、食行動、運動の現状と傾向を掴み、説明できる。	(予習) テキストの授業範囲に目を通して、概要を掴んでおく。 (復習) 授業において、不明なキーワード、事柄について調べておくとともに、テキストの授業内容の範囲をよく読んでおく。	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
4	学校保健 (2) ・学校環境管理について学ぶ。	講義	学校における健康診断の目的を説明できる。	(予習) テキストの授業範囲に目を通して、概要を掴んでおく。 (復習) 授業において、不明なキーワード、事柄について調べておくとともに、テキストの授業内容の範囲をよく読んでおく。 予習・復習・小課題レポート①を作成する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
5	産業保健 (1) ・近年の労働情勢と勤労者保健、労働災害、職業病について学ぶ。	講義 ディスカッション	熱中症のⅠ、Ⅱ、Ⅲ度の症状と対応を説明できる。	(予習) テキストの授業範囲に目を通して、概要を掴んでおく。 (復習) 授業において、不明なキーワード、事柄について調べておくとともに、テキストの授業内容の範囲をよく読んでおく。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
6	産業保健 (2) ・職場における健康診断と健康増進について学ぶ。	講義 ディスカッション	法令で実施が義務づけられている一般健康診断、特殊健康診断、臨時の健康診断の違いが説明できる。	(予習) テキストの授業範囲に目を通して、概要を掴んでおく。 (復習) 授業において、不明なキーワード、事柄について調べておくとともに、テキストの授業内容の範囲をよく読んでおく。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
7	高齢者の保健・医療・介護 (1) ・加齢に伴う問題、高齢者の生活と健康について学ぶ。	講義 ディスカッション	65歳以上の世帯数および世帯構成割合の年次推移(昭和50年～最近)を掴み、説明できる。	(予習) テキストの授業範囲に目を通して、概要を掴んでおく。 (復習) 授業において、不明なキーワード、事柄について調べておくとともに、テキストの授業内容の範囲をよく読んでおく。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
8	高齢者の保健・医療・介護 (2) ・高齢者の保健と医療、介護保険、地域包括ケアシステムについて学ぶ。	講義 ディスカッション	地域包括ケアシステムとは何かを説明できる。	(予習) テキストの授業範囲に目を通して、概要を掴んでおく。 (復習) 授業において、不明なキーワード、事柄について調べておくとともに、テキストの授業内容の範囲をよく読んでおく。 予習・復習・小課題レポート②を作成する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	精神保健 (1) ・ストレスと精神健康、現状について学ぶ。	講義 ディスカッション	精神障害の外來受診率と、入院受診率のここ10年の年次推移を掴むことができる。	(予習) テキストの授業範囲に目を通して、概要を掴んでおく。 (復習) 授業において、不明なキーワード、事柄について調べておくとともに、テキストの授業内容の範囲をよく読んでおく。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
10	精神保健 (2) ・精神保健福祉活動について学ぶ。	講義 ディスカッション	精神保健福祉における保健所の役割について説明できる。	(予習) テキストの授業範囲に目を通して、概要を掴んでおく。 (復習) 授業において、不明なキーワード、事柄について調べておくとともに、テキストの授業内容の範囲をよく読んでおく。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
11	国際保健医療 ・人種と民族と国、国際機関を通じた協力について学ぶ。	講義 ディスカッション	WHOおよびFAOの主な活動を説明できる。	(予習) テキストの授業範囲に目を通して、概要を掴んでおく。 (復習) 授業において、不明なキーワード、事柄について調べておくとともに、テキストの授業内容の範囲をよく読んでおく。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
12	保健医療福祉の制度と法規 (1) ・保険医療行政とその仕組みについて学ぶ。	講義	医療従事者の資格と資格法について、栄養士法に定められている管理栄養士、栄養士の業務内容を説明できる。	(予習) テキストの授業範囲に目を通して、概要を掴んでおく。 (復習) 授業において、不明なキーワード、事柄について調べておくとともに、テキストの授業内容の範囲をよく読んでおく。 予習・復習・小課題レポート③を作成する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
13	保健医療福祉の制度と法規 (2) ・医療保障、年金の仕組みについて学ぶ。 ・ディスカッションの説明と準備 グループによるディスカッションテーマの決定、役割分担の決定、テーマで話し合われる範囲の決定、事前学習による基本的情報の分担の決定。	講義 ディスカッション	平成に入ってから、国民医療費と対国民所得比の推移を説明できる。	(予習) テキストの授業範囲に目を通して、概要を掴んでおく。 (復習) 授業において、不明なキーワード、事柄について調べておくとともに、テキストの授業内容の範囲をよく読んでおく。今回のディスカッションの準備を行う。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 傾聴力 規律性
14	グループディスカッション：グループワーク1 ・分担された情報の共有を行い、テーマに従いディスカッションを行い、結論を導き出す。発表方法を考える。	演習 ディスカッション ICTの活用	積極的に作業に参加でき、発言および提案ができる。	(予習) 共有すべき情報を調べ、提示できるように準備する。 (復習) 発表の準備を行う。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性 ストレスコントロール力
15	グループディスカッション：グループワーク(2) 各グループによる発表、全体討論を行う。	演習 ディスカッション ICTの活用	各テーマによる結論を発表することができる。	(予習) 発表できる形にまとめておく。媒体の準備を行う。 (復習) 発表内容のフローシート、概要をまとめ、ワーキングシートを提出する。これを予習・復習・小課題レポート④の代替とする。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力